

会議記録

会議名称	第10期（平成30・令和元年度）第5回杉並区男女共同参画推進区民懇談会
日時	令和元年12月12日（木） 午後6時30分～8時05分
会場	杉並区役所 第6会議室
出席者	14名 村松委員、高畑委員、長瀬委員、原委員、高本委員、室委員、清水委員、新関委員、長澤委員、近藤委員、赤池委員、大津委員、石川委員、米沢委員 ※欠席者2名
	3名 男女共同参画担当課長、男女共同・犯罪被害者支援係長、担当者1名
傍聴者	1名
配布資料	資料1 男女共同参画行動計画進捗状況調査報告書（案）（平成30年度実績） 資料2 杉並区立男女平等推進センター相談業務公募型プロポーザル選定結果について 【参考資料】 第4回男女共同参画推進区民懇談会 会議記録 ゆうCan61号 ひとりひとりが幸せな社会のために（令和元年版データ） 男女平等推進センター委託講座チラシ（1種類）
会議次第	1 開会 2 議題 杉並区男女共同参画行動計画進捗状況調査報告書（案）（平成30年度実績）について 3 報告等 杉並区立男女平等推進センター相談業務公募型プロポーザル選定結果について 4 連絡事項等 杉並区男女共同参画推進区民懇談会委員の改選について 5 閉会
会議要旨	1 開会 ○事務局 男女共同参画推進区民懇談会（以下、「懇談会」）を公開とすること、会議録を作成し区公式ホームページで公開するため会を録音すること及び事務局に異動があったことについて、男女共同参画担当課長から説明。 2 議題 杉並区男女共同参画行動計画進捗状況調査報告書（案）（平成30年度実績）について ○事務局 男女共同参画行動計画進捗状況調査報告書（案）（平成30年度実績）について、資料1に基づき、男女共同参画担当課長から説明（省略）。 ○委員 全体を通して、情報量が多いがグラフがない等、読みづらい。もう少し読みやすくする工夫が必要である。 ○委員 最初に全体を要約した文章があるとよいのではないか。 ○委員 6ページに目標別評価一覧の表があるが、目標1～3が何を指すのか記載した方が分かりやすい。40ページも同様である。 ○委員 今回の報告書（案）は、計画の初年度である平成30年度の進捗状況をまとめたものだが、計画期間が終わった際に、その期間の進捗状況をまとめたものを作成するのであれば、経年変化が分かるような記載が必要である。 ○事務局 前計画における最終年度の進捗状況を示した昨年度の報告書には、進捗状況の総括等を記載した。正式には決まっていないが、現計画における最終年度の報告書には、計画期間を通じた総合的評価を入れる必要があると考えている。 ○委員 男女共同参画担当の担当事業はシビアに評価しているようだが、その他の事業には評価が甘いものも見受けられる。男女共同参画担当が、もう少し各担当課と調整を図ることも必要である。

- 委員 参考資料として「ジェンダー統計」のページが入ったが、この男女別数値は各事業の実績部分には入っていないようである。
- 事務局 個別の事業部分に男女別数値を入れると見づらくなると判断し、参考資料として「ジェンダー統計」のページを設け、一覧で掲載したものである。
- 委員 事業3の②「ファミリー・サポート・センター事業」の評価指標が「ファミリー・サポート・センター会員数」となっているが、この「会員数」とは何を指すのか。
- 事務局 協力会員と利用会員の合計数を指している。
- 委員 事業5「保育施設等の整備」の評価指標が「認可保育所整備率」となっているが、何に対する整備率なのか分かるようにした方がよい。
- 事務局 確認するが、それが分かるような表現にしたい。
- 委員 事業2「産後における母子支援の充実」が評価3.5と低くなっているが、どのように算出しているのか。
- 事務局 事業2は二つの項目で構成されており、各評価の合計点から平均値を出している。目標値に対する実績値の達成率を基本として総合的に評価しており、例えば事業2の②「訪問育児サポーター事業」では計画値350人に対し実績値が197人であったこと等から、担当課が評価3としたものである。
- 委員 事業2の②「訪問育児サポーター事業」に「0歳児の子どもの子育てに不安や悩みを持つ家庭の希望に応じて～訪問育児サポーターが訪問」とあるが、不安を持つ人は少ない方がよいとも言え、目標値の設定が困難な場合もある。
- 委員 担当課により、評価にかなり差があるように感じる。
- 事務局 数字に表れない努力なども加味し、担当課が総合的に評価した結果であるが、懇談会でいただいたご指摘やご意見は担当課に伝えたい。
- 委員 定量的な評価が多いが、もう少し定性的な分析も必要ではないか。
- 委員 「評価理由」は何字程度で書くよう担当課に依頼しているのか。
- 事務局 概ね100字程度でコンパクトにまとめるよう、各担当課に依頼している。
- 委員 事業6の②「延長保育の実施」において、令和3年度目標が「実施」となっているのはどういう意味か。
- 事務局 担当課として、取組はするが目標値は定まっていないという意味で「実施」としていると思われる。
- 委員 それならば「未定」とした方がよいのではないか。
- 委員 事業1の②「出産育児準備教室」のように、計画値に対する達成率が明確に記載されている事業がある一方、そうでない事業もある。定量的な達成率を記載するのであれば統一的に記載し、そのうえで定性的理由を「評価理由」に書くなど、工夫が必要である。
- 委員 数字だけが独り歩きすると誤解を招きかねないため、実態が正しく伝わるよう、配慮したうえで掲載する必要がある。
- 委員 区民から見て、少し分かりづらい点と担当課によって評価のバラつきがある点が気になる。
- 委員 3ページ「(2) 調査の概要」には評価基準が掲載されており、達成基準が数値で示されていることから定量的評価のように見えるが、定性的評価がなされていることも多い。定量的評価が基本だが、それにより難しい場合は定性的要素も加味し総合的に評価するといった考え方の整理が必要である。
- 委員 各事業において、計画に対する達成度合いを5段階で示しているが、評価5であったとしても計画通りに進んでいるという意味でしかなく、課題の解決に至ったという評価ではないことに留意すべきである。
- 委員 事業4の②「子ども子育てプラザ」の評価理由にゆうキッズの話が出てくるが、児童館におけるゆうキッズの数値が出ていない。子ども子育てプラザより各児童館で実施するゆうキッズ事業の方が利用人数は多いと思うので、そちらの数値も入れるのはどうか。
- 委員 事業12「事業所に向けた積極的な働きかけの充実」において、計画どおり実施したのに評価4というのは分かりづらいし、事業14「総合評価方式による入札実施件数」において、評価3が妥当か分かりづらい。
- 委員 評価が低いものは、何が不足した結果、その評価となったのかを記す必要がある。

- 委員 事業 15「女性再就職支援の推進」において、平成 30 年度実績が計画値の 60%に達していないのに評価 3 になっている点と平成 30 年度実績が 29 年度実績より減少している中で、令和 3 年度目標値が高いままになっている点が疑問である。
- 委員 計画の最終目標（令和 3 年度目標値）は修正できるのか。
- 事務局 目標を修正する際は、上方修正を原則としている。
- 委員 事業 15「女性再就職支援の推進」及び事業 16「若者等の就労支援」について、要因となっている雇用状況が改善されれば実績は減少するものであり、それが一概に悪いとは言えない。
- 委員 事業を取り巻く社会状況についても触れたほうが良いのではないか。
- 委員 事業 19「区役所における女性活躍の推進」について、管理職になると女性職員の割合が激減しているが、その背景についても触れたほうが良い。また、事業 21「審議会等委員における女性の積極的登用の推進」について、評価に違和感があるため、俯瞰できる情報がもう少し必要である。
- 委員 事業 24「防災会議における男女共同参画の推進」の評価指標「防災会議における女性委員の登用割合」について、実績及び目標が 11.8%というのはあまりにも低い。
- 委員 予定に対する実績の評価と課題そのものの解決の評価とを区別すべき。事業 24 については、予実の評価であれば、実績値が計画値を超えているため評価 5 となるはずで、整理が必要である。
- 委員 防災会議の委員構成についても、再検討する必要がある。
- 事務局 防災対策における女性の意見は非常に重要であるため、引き続き、女性委員の推薦を可能な限り求めていくよう、担当課に働きかけをしていきたい。
- 委員 昨年施行された「政治分野における男女共同参画推進法」に「国及び地方公共団体の責務」として「政治分野における男女共同参画の推進に関して必要な施策を策定し、及びこれを実施するよう努めるものとする。」と記されているのであるから、各政党の議員の女性候補者割合などのデータも報告書に入れてほしい。
- 委員 内閣府に提出している調査データがあるのではないか。
- 事務局 議員数などは提出しているためデータはある。参考資料として、公表されているデータを掲載することは検討したい。
- 委員 事業 25「地域住民活動の支援」の評価指標「町会・自治会加入率」は、高齢化が進めば加入率は低下するといった社会的背景を加味する必要があり、そもそも計画に入るべきものなのか。
- 委員 事業 25「地域住民活動の支援」の評価指標「町会・自治会加入率」が評価 2 となっていることが疑問である。防災の視点からも町会活動は重要であり、評価 2 の状態では今後活動がしづらい。
- 事務局 担当課が評価した結果であるが、計画値 55%に対する実績が 45.9%であるため、達成率で見ると評価は 4 または 3 でも問題はないと考えるが、ご意見を担当課に伝えたい。
- 委員 事業 25「地域住民活動の支援」の評価指標「町会・自治会加入率」については、事業の効果が上がらず加入世帯数は横ばいであったが、世帯数が増加した結果として実績値が下がったため、担当課は厳しく評価したのではないか。
- 委員 事業 34「男女平等推進センター啓発講座の充実」はなぜ評価 3 なのか。
- 事務局 地域団体等に講座の企画運営を委託して実施しているが、参加者 500 人を見込んだ計画値に対して、273 人の実績値であったことや講座数は目標を達成できたことが主な理由である。
- 委員 事業 34「男女平等推進センター啓発講座の充実」と事業 38 の①「家庭に対する啓発活動の推進」とは評価指標が同じであり、取組内容と評価理由も似ている。
- 事務局 事業 38「家庭教育支援」は、男女共同参画担当が担当する「家庭に対する啓発活動の推進」と学校支援課が担当する「家庭教育講座」の二つの項目から構成されている。家庭に対する啓発活動としては、男女平等推進センター講座が主であるため、同内容となっている。
- 委員 事業 35「男女平等推進センターにおける情報・資料提供の充実」の評価指標が「情報・資料コーナー利用者数」となっているが、来館者数イコール利用者数としているのか。

- 事務局 図書を開覧したり情報コーナーで調べ物をしたりと様々な利用方法があるが、来館者を利用者としており、イコールである。
- 委員 課題8の成果指標に「DV被害者が公的機関に相談した割合」として平成28年度実績が18.2%となっているが、何に対して18.2%なのか。
- 事務局 5年に一度、男女共同参画に関する調査を実施しているが、その中で、DVの定義を挙げたうえで、DV被害経験の有無に関する設問がある。その設問でDVの被害経験があると答えた方に対し、相談したことがあるか次の設問で尋ねるという形式を取っている。
- 委員 事業45「配偶者暴力相談支援センターの適切な運営」について、実績値が計画値を満たしているが評価4となっており、何が不足していると判断してその評価に至ったのか分からない。同様に、事業58「外国人相談」についても、実績値が計画値を超えているが評価4となっている。
- 委員 そもそも課題10「生涯を通じた心とからだの健康支援」がこのように計画に入っていること自体に違和感がある。
- 事務局 男女共同参画行動計画を改定する際に、国及び東京都の男女共同参画基本計画等を踏まえ、課題として位置付けたものである。

3 報告等 杉並区立男女平等推進センター相談業務公募型プロポーザル選定結果について

- 事務局 杉並区立男女平等推進センター相談業務公募型プロポーザル選定結果について、資料2に基づき男女共同参画担当課長から説明（省略）。
- 委員 引き続き、現在と同じ団体が受託するという事か。
- 事務局 そのとおりである。

4 連絡事項等

- 事務局 杉並区男女共同参画推進区民懇談会委員の改選及び次回懇談会の予定などについて説明。

5 閉会

以上